

2015年”水風戦”紹介資料

一般社団法人 水風戦協会
代表理事 塩谷光高



活動理念

● 活動趣旨

「**スポーツを通じた復興**、心と身体の健康促進、環境保全を通じた社会貢献。」

「野球なら甲子園、ラグビーなら花園、**福島県いわき市を水風戦の聖地**にしたい」

津波被害、原発被害の多大なる影響を受けた**福島**に人々が向ける目を変える！！ことです。

● 目指すゴールは？

まだ競技としては確立されていない「水風戦」を、**福島県発祥のスポーツとして全国**に広めていくとともに、福島県に人を呼び、福島県の地域経済発展に寄与したい。将来、世界大会「**水風戦ワールドカップ**」をいわき市で開催することを目指しています。

● 誕生のきっかけ

運営のメンバーは**震災ボランティアとしていわき市で活動**に従事したメンバーが中心です。ボランティアを行っているうちに感じたことで「**地元の方とボランティア**」という立場の違いができてしまっていたり、さまざまな **ボランティア団体同士の関係がギクシャク**していたりしました。子供たちのイベントで、見守る**大人たちに笑顔がなかった**ことも気がかりました。被災地に行って感じた**もやもや感**を「**水ふうせん**」で吹っ飛ばせないか、いろいろな団体も立場も一つの「**チーム**」同志として、ぶつかり合い、笑いあえないか。大人も子供も男子も女子もみんなで楽しみたいということで誕生しました。

● 信念

我々にできること、目指していることは、小さな一歩かも知れませんが、いわき市はじめとして、「**被災地も前に進んでいる**」ことを**日本全国に、世界に**伝えていくこと、同時に水風戦を実施できた地域で**福島へのメッセージ**を集め、届けることだと思っています。

水風戦協会は福島の笑顔のために活動を続けていきます。

水風戦公式ルール概要

1. 試合準備

- 1チーム5人とし、ゲーム中の交代は認められない(ゲーム毎の交代は可能)
- **水風船は各チーム75個を時間内に作成する、1ゲーム3セットの使用数配分は自由。**

2. 勝利条件

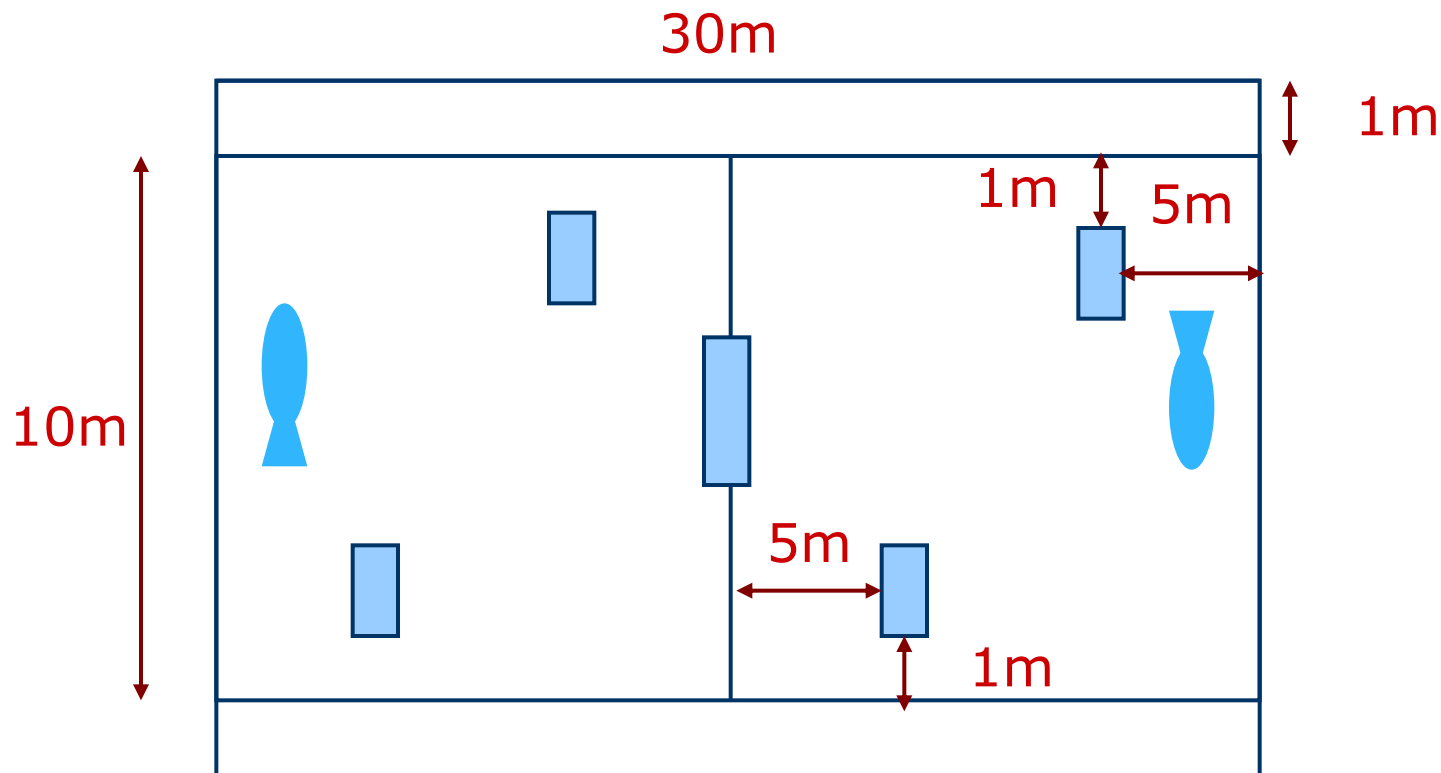
- チームの勝利は、「シャチゲット」、「全員退場」の2パターン
- 選手の退場は、「あたり」、「コートアウト」の2パターン
- 1セット3分で、**2セット先取で勝利とする**

3. ゲーム中の基本ルール

- 水風船を相手に当て、**水風船が割れた時点で当たった選手は失格となり退場する**(水が掛かるだけや、水風船が当たった時点で割れない場合は失格とならない)
- 選手はコートの**ラインから片足出た時点で失格となる**(ラインを踏むまではOK)
- 自チームの選手は**相手コートに3人以上入ることはできず、3人以上入った時点でそのセットは負けとなる**
- 意図的に相手の顔を狙った危険な投球を行った場合は、その選手は退場となる
- 相手選手への意図的な接触は禁止

水風戦公式コート設定

- * コートの大きさは10m×30m
- * コート内に水風船を避けるためのシェルターが5台設置される
- * それぞれのコートに奪うと即時勝利となる「シャチ」が設置される
- * ラインマンゾーンはラインマン移動の範囲のため、観客立ち入りは禁じられているゾーン



2012年 第一回 水風船大会



競技シーン 閉会式



まだ、水風戦協会設立以前で、Fukushima Kizuna Projectとして水風船大会を実施、優勝は、久ノ浜の清掃を行っていた「チーム結」、久ノ浜から雇用促進住宅に避難されていた中学生達「サンコープラス内郷」が準優勝でした。

いわき告知イベント活動



参加者の表情



実施環境もきれいな芝生の上で、子供が、勝負より楽しくて駆け回っていて、ほのほのと行われました。前回大会出場チームなどがボランティアで参加、対戦を盛り上げてくれました。恒例のゴミ拾いは、来場者全員で楽しくできました。

サザンビーチちがさきイベント



初めての首都圏エリア内で一般大会を実施。当日参加の即席チームの応募も受け付け、過去最高の参加者数。茅ヶ崎市主催のゆるきゃらイベントともコラボした関係で、えぼし麻呂、調整豆乳くんなどのキャラも参戦し、観客含め盛り上がりました。

いわきグランドファイナル(全国決勝大会)



参加者の表情



実施環境もきれいな芝生の上で、常連で優勝経験もある出場チームなどが、対戦を盛り上げてくれました。チームで仮装で出場してくれたり、風船を作って子供を喜ばしてくれたり、yosakoi絆の旗パフォーマンスもあり、終始楽しいイベントとなりました。

メディア掲載リスト

メディア	媒体	掲載年月	種別	内容(エリア)
TV	TV 朝日系列	2012年7月	ニュース	いわき大会(福島)
TV	TFU	2012年8月	特集	希望プロジェクト番組内(東北)
TV	NHK Eテレ	2012年9月	特集	東北発未来塾(全国)
TV	東日本放送	2012年11月	番組参加	とうほく元気でテレビ競技参加(東北)
TV	NHK福島	2013年10月	ニュース	いわきグランドファイナル(福島)
TV	J-com茅ヶ崎	2014年9月	ニュース	街情報として競技紹介(神奈川)
TV	NHK福島	2014年9月	特集	はまなかあいつ内で競技に参加(福島)
TV	フジテレビ	2014年8月	告知	バイキング内で茅ヶ崎大会告知
新聞	日経新聞	2013年10月	人物特集	夕刊「フォーカス」内で代表インタビュー(全国版)
新聞	京都新聞	2014年6月	告知	京都シャルソン大会の告知記事
新聞	日経新聞他	2014年8月	ニュース	茅ヶ崎大会実施ニュース(共同通信発多数掲載)
新聞	東京新聞	2014年8月	特集	代表インタビュー他競技紹介など(全国版)
新聞	神奈川新聞	2012年8月	告知	茅ヶ崎大会イベント告知記事
Web	Alterna +S	2012年7月~	団体紹介	団体発足のきっかけ等広報担当インタビュー
Web	政府広報	2012年7月~	団体紹介	団体発足のきっかけ等広報担当インタビュー
Web	安倍総理 メッセージ内	2013年3月	画像紹介	震災2年に当たっての総理メッセージ内でボランティア活動の一つとして紹介
ラジオ	FM湘南ナハサ	2014年8月	告知	30分の番組ジャック・茅ヶ崎告知

メディア掲載実績



2012年8月8日 TUF
「希望プロジェクト」内系列放映



2012年9月8日
NHK Eテレ 全国放映



2012年11月16日
東日本放送放映



2013年3月11日
安倍総理大臣メッセージ
「3・11をむかえて」に引用



2013年10月8日
日経新聞 夕刊
「フォーカス」内単独記事



2014年6月25日
京都新聞



2014年8月25日
毎日新聞、日経新聞他
共同通信経由掲載多数



2014年9月5日
NHK福島放送
木下キャスター体験コーナー

沿革・団体概要

正式名称	一般社団法人 水風戦協会 (japan mizufusen association)
事務局住所	156-0051 東京都世田谷区宮坂1-18-19
お問い合わせ	contact@japan-ma.com
設立	準備委員会発足 2012年5月1日 一般社団法人設立 2012年11月4日
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・水風戦の協議会の実施、運営、普及・水風戦の関連グッズの販売促進・水風戦の競技への賛同団体、個人からの寄付の以来・その他この法人の目的を達成するために必要な事業
活動実績	<ul style="list-style-type: none">・2012年7月 いわき大会開催 参加16チーム・2012年9月 墨田区ジャズフェスティバル内イベントにてこども水風戦実施・2012年11月 相馬大会開催 参加15チーム・2013年7月21、22日 マツダオールスターゲーム同時開催「ふくしま復興祭」21世紀の森公園大会 参加10チーム・2013年10月13日 いわき市パークフェスとのコラボで水風戦グランドファイナル 参加6チーム・2014年10月12日いわき市パークフェスとのコラボで水風戦グランドファイナル2014 参加20チーム
役員	代表理事・・・塩谷 光高 代表副理事・・・幸本 康寿 広報担当理事・・・太田 康子
協賛・支援企業／団体	<ul style="list-style-type: none">・いわき市 ・マツダオールスターゲーム2013 いわき実行委員会 ・北いわき再生発展プロジェクト・スポーツビジネスオンライン(運営:RIGHT STUFF) ・スポーツデータバンク・いわき gohoubi ・株式会社 灯り ・mizdeskDesigns ・いわき パーク・フェス-Alios Park Fes-・福島県相馬市／教育委員会／観光協会 ・ダウ加工株式会社 ・高島株式会社・ブリタ・ジャパン株式会社 ・株式会社マルサ斉藤ゴム ・酒々の実
取引先・取引銀行	・世田谷信用金庫 本店 ・株式会社 デジタルガレージ ・株式会社 クラスタ

【参考】2015年水風戦協会 組織図

